

令和2年度 環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果報告会 発表資料

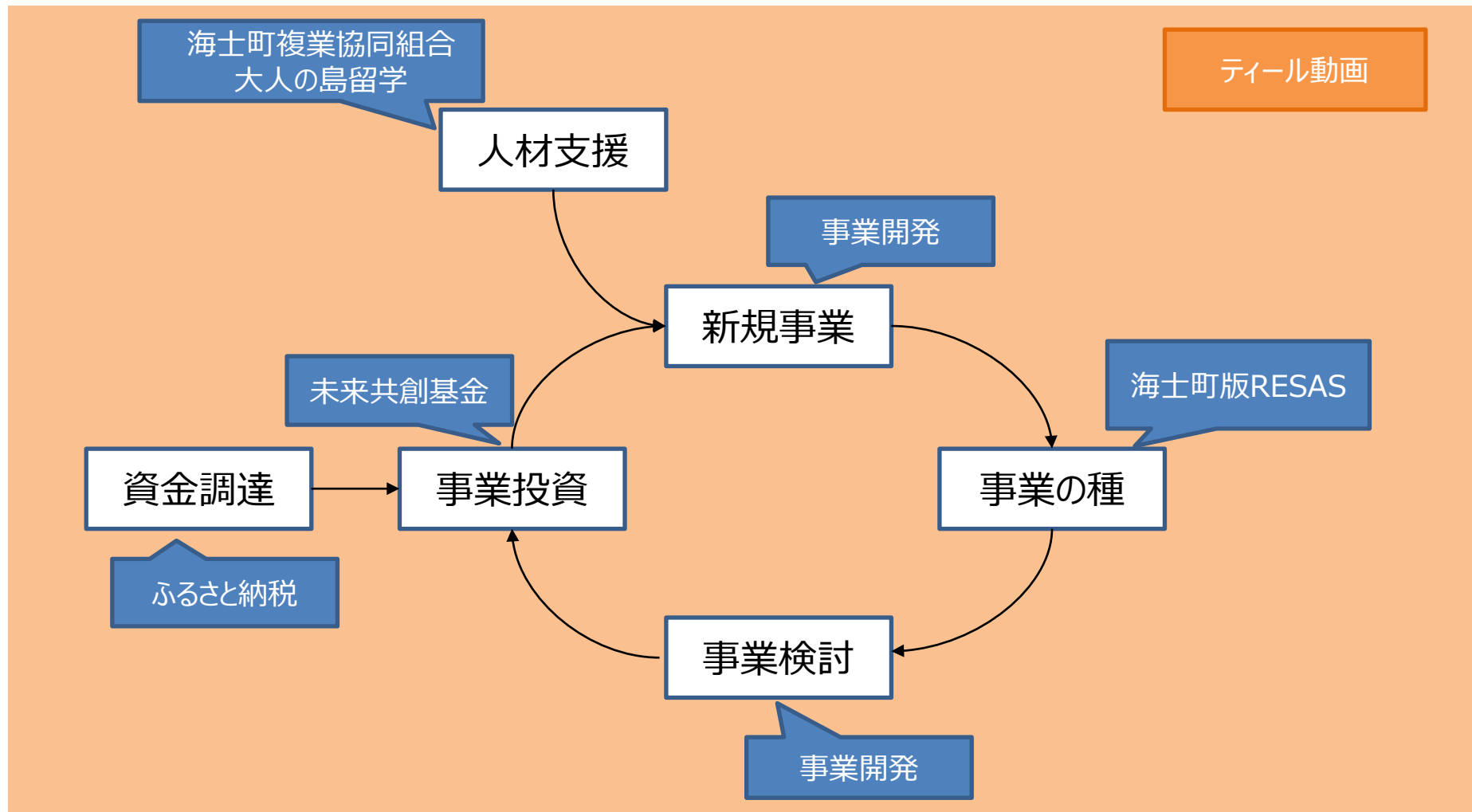
活動団体名：AMAホールディング株式会社
活動地域：島根県隠岐郡海士町

活動におけるテーマ・キャッチコピー
環境・経済・社会を同時に高める事業が
生まれ続ける仕組みづくり

地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

新たな挑戦が生まれ続ける仕組み

～特定のリーダーに頼らない（自立分散型の）好循環を目指して～

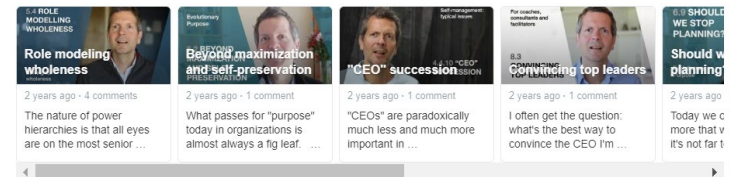


自立分散型の好循環を目指すための学びの場づくり

『ティール組織』

著者フレデリック・ラルー氏の
ビデオメッセージの日本語訳
字幕を公開

- 自律分散型の地域、組織を目指すための教材として使用可能
- オンラインでの学び場づくりを始める



URL

<https://thejourney.reinventingorganizations.com/videos.html>

魅力的で持続可能な島の未来のために 人づくりと仕事づくりの好循環をつくる

ステップ1

- AMAホールディングに相談もちこみ
- 伴走がつく(評価基準:本人の熱量、事業アイデアを重視)



ステップ2

- 未来投資委員会
- お金がつく(評価基準: 1,投資の意義
2,事業の実現可能性と持続可能性)

投資0号案件の実施

<島のコンシェルジュ>

～ホテル×隠岐島前高校ヒトツナギ部～

チェックイン時に高校生による海士の紹介を行う



海士町版RESAS

RESAS・地域データを活用して、地域構造、産業構造、地域産業の特徴と分析を深掘りしていくことで、地域課題を特定する

データ収集

- RESASよりも粒度の細かい海士町内のデータをCSV等でタイムリーに収集



データ蓄積

- 収集したデータをセキュリティが高く、運用コストが安いクラウド上で一元管理



データ分析

- 海士町の課題を詳細に把握可能な様々な分野の分析メニューを提供



データ活用

- 海士町版RESASにより、データに基づく施策立案、検証を実現。町民への施策効果の見える化も可能となる

期待されること

- データに基づいて、地域の現状や課題を把握し政策やビジネスプランを考えることができる。
- 粒度の細かく、タイムリーなデータを可視化することができる。特に産業面では、起業、継業のニーズをより早く把握することが可能となり、海士町の稼ぐ力が高まり、自律性が向上する。
- 地域の傾向や課題が明らかになり、民間での新たなビジネスチャンスに繋がる可能性がある。
- 産業間連携による地域課題解決の促進。

わがトコわがコトプロジェクト（夢ゼミ）

ビジョン作成、及びビジョンを実現するプラットフォーム（ビジョン実現に向けた海士町と事業実施主体の話し合いの場）づくり

ビジョン

- 「持続可能なチャレンジを楽しみ続けていく人が増えてしまう島。2030年には持続可能に。」
- 「ないものはない」島から「いつまでもありつづける」島へ



アイデアの種

- 島のビレッジ構想
- 地域対抗発電合戦
- 地産地消のワインづくり

